

別記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025(令和7)年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-15氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
大原薬品工業株式会社
代表取締役CEO 大原 誠司滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第25条第3項 - 第25条第4項
第27条第1項 - 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更)
事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	大原薬品工業株式会社 代表取締役CEO 大原 誠司
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-15

1 事業所の概要

事業所の名称	大原薬品工業株式会社 市場工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲賀町大原市場3番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 医薬品製剤製造業
事業の概要	オーファンドラッグ、ジェネリック医薬品の研究及び製造					
従業員の数	58	人	操業時間	8	(8:30~17:30)	時間/日
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	6	台	熱源設備	17	台
	照明設備	4887		台		
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備	17	台
			その他			

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和5 (2023)	年度	報告対象年度	令和6 (2024)	年度
	終了年度	令和9 (2027)	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

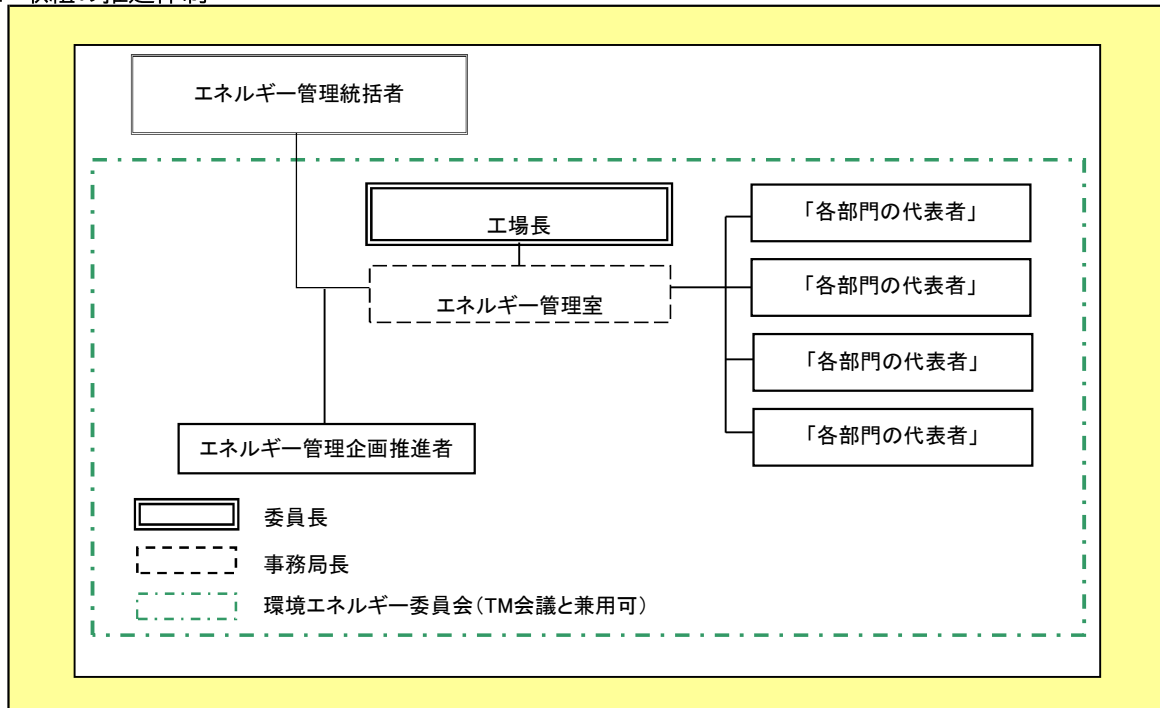
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

基本方針

- 1) エネルギー使用機器の使用状況を把握し、かつこれらに関するエネルギーの浪費を未然に防止する。また、エネルギーを消費する設備の運転および保守、点検などに関して、管理標準を設定しこれに準拠した管理を行う。
- 2) エネルギー管理体制の充実を図るとともに、設備利用の省エネルギーに関する意識の啓発に努める。
- 3) 適切な執務環境の維持に努め、業務の性質および規模に対して適切に運用する。
- 4) 継続的な改善および職場環境の維持改善に関して配慮する。
- 5) 関連する法規制の方針に則していること。

(エネルギー管理標準(基本規定) 第4版 6基本方針より抜粋)

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

エネルギー使用量削減を目的に下記事項について取組を実施した。

- (1) 空調機設備の設定温度見直し
冷凍機設備の電気使用量削減及びボイラー設備の燃料費削減
- (2) 一部エリアのみ非生産時は空調機設備の設定風量を変更
INVにて周波数を調整することで低負荷運転とし、電気使用量を削減

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	A重油ボイラ(2/4台)→LPG化の検討	2024年(R6)～2025年(R7)	継続実施中
2	設備導入	2025年度屋上チラー更新予定	2025年(R7)～2026年(R8)	継続実施中
3	設備導入	各プロジェクト工事に併せて高効率機器へ更新	2024年(R6)～2027年(R9)	継続実施中
4	設備導入	1号棟4・5Fの照明LED化(実施)	2023年(R5)～2024年(R6)	2023年度実施完了
5	設備導入	コンプレッサー能力(効率)アップ	2024年(R6)～2025年(R7)	2024年度8月頃設置

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組み等により、5年度間でCO₂排出量原単位を年平均1.0%以上削減することを目標とする。</p> <p>CO₂排出量原単位 = 市場工場 CO₂排出量実績(t-CO₂/年) / (空調稼働時間(h・m³)×生産数量(億錠))</p> <p>なお、5年度間の推移をみるために、CO₂排出係数は2022年度実績報告時に使用した数値を固定値として試算する。 (CO₂排出係数(基礎排出係数):0.000299t-CO₂/kWh)</p> <p>ただし、毎年度提出する事業者行動報告書に記載の「温室効果ガス排出量等の実績」については、該当年度のCO₂排出係数を採用し、報告することとする。</p>	<p>【2024年度実績報告】 計画期間のうち2年目の報告となる今回、目標に対する評価は5年度間平均のためできないが、前年度比では下記のとおりであった。</p> <p>〔参考〕 ・前年度比エネルギー使用量:89.7% ・CO₂排出量:95.8%(係数固定) ・空調稼働時間:102.8% ・生産数量:67.8%</p> <p>したがって、CO₂排出量原単位は137.3%となり、目標であるCO₂排出量原単位1.0%以上削減に対する評価としては達成できなかった。一因として、受注量減少による生産計画調整のため生産数量(億錠)が減少したためである。一方で、生産数量が大幅に減少しているにも関わらずエネルギー使用量が微減しかできなかった理由として、生産していない状態でも医薬品を製造する環境(温度、湿度、室圧等)を一定に保つ必要があるためである。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		2023(R5)年度	2024(R6)年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,101	1,869	1,824			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,556	3,667	3,872			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,556	3,667	3,872			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.00764	0.00323	0.00444			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告			
			2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	—	—			
上記のうち自家消費量	kWh	—	—			

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	3,623					
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	3,623					
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.311	0.434	0.419			
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂		-	-			
クレジットの購入	t-CO ₂		-	-			
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

取組項目	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケ ジュール	
1 通勤	電車通勤者への交通費満額支給	2023年～ 2027年	予定通り実施
2 通勤	電車通勤者への駅からのシャトルバス	2023年～ 2027年	駅から徒歩圏内のため シャトルバスの運行無し
3			

(4) 業務で使用する車両の脱炭素化の取組

	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	()年度	()年度	()年度
保有車両の数	台	2	5	6			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0	0			
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

取組項目	実施計画		実績報告
	取組内容	実施 スケジュール	
1 環境マネジ メントシステム (EMS)	社員教育の一環として環境問題やエネルギーに対して 理解を深めてもらうために研修会を実施する。(1回/ 年)	2023年～ 2027年	継続実施中
2 3R	廃棄物の分別、再利用化を促進し、最終処分率の低減 を図る。	2023年～ 2027年	継続実施中
3 3R	重要書類を除き、可能な限り裏紙を使用して資源の削 減を図る。	2023年～ 2027年	2023年11月～中止 (発行管理や情報セキュリ ティーの観点より)
4 その他	エアリー・蒸気漏れ等を初期段階で発見し修繕すること で、不要なエネルギーロスを最小限に留める。	2023年～ 2027年	継続実施中
5 環境マネジ メントシステム (EMS)	月別の電力量及び蒸気量等を見える化する。	2023年～ 2027年	継続実施中